



新入社員研修風景



プロジェクト型演習で使用する、マイコンボード搭載の模型自動車

は「実践型人材育成システム普及のための地域モデル事業」として、イーソルエンベックスが委託を受けて中野坂上、池

JASSA新入社員研修終盤

3カ所で実施 59人12社が受講

キャリア形成促進助成金 技術協会（JASSA）の新しいシステム 入社員研修が終盤を迎えている。これ

袋、新横浜の3カ所で実施しているもの。

教材は、イーソルエンベックス、キャッツ、ケンソフの3社が協力して作成した。日程は08年4月から40日、受講者は12社59人になる。

研修内容は、コンピュータ基礎から始まり、C言語基礎・実践や組み込みプログラミングを経て、最後にはプロジェクト型演習を行う。模型自動車に搭載されたマイコンボードを使い、TV用リモコン信号を受信してモーター制御するプログラムを開発する。

受講者の嶋田貴宏さんは「Java言語は学校で習っていたがCは初めて。教材は丁寧で講師の教え方もろま、実地に役立つ技術を吸収できている」と語った。

また、同じ受講者の木下学さんは「文系出身でコンピュータの世界はほぼ初めて。3日目から頭が痛くなった。が、取り組んでいるうちに慣れ、今、モーター制御を担当しているが、自分の作ったプログラムで動くのを見ることができて感動した」という。

JASSAでは同様の研修を、中途採用の組み込み技術者研修として、今秋に向けて検討している。

経産省 IT企業8社

組み込み技術者養成

新入社員向け 全国トップ切り開講



新入社員代表の比嘉氏



全国トップを切って始まった開講式

【那覇】沖縄県内14最 大手のオシシー（沖縄 県浦添市、山根健次郎社 長）をはじめとする県内IT 企業8社は6日、「新入 社員向け組み込み技術者養成 講座」を那覇市の沖縄農生 生涯研修センターで開始 した。

助成金を受けるのは全国 7都府県で28社508人だ が、沖縄の8社は東京のIT 社に次ぎ多い。全国のトッ プを切って講座を開始した 沖縄では、全国で唯一開講 式が行われた。

開講式のはじめに沖縄県 観光商工部情報産業振興課 の米須清光課長は「県は積 極的にIT産業の振興を図 っており、各種施設や事業 を行っている。第一線で働 けるよう頑張っている」と 期待を述べた。

今回、研修への参加申請 などはコンサルティング、 した組込システム技術協会 （JASSA）の高橋賢治理 事兼務局長は「国内の組込 み技術者不足が深刻してい るが、足りないのは（企 業が）必要としている人材 だ。中国、ベトナム、イン ドなどアジア経済圏でも多 くの企業が組み込み技術を 勉強している。他国の若者に 負けない努力をした人が、 （産業界が）欲しい。足りない人材を補える」と述べ、参加者へ待

研修は、イーソルエンベックスが主体となり、プ ランナーズランド（名古屋市 中区、村山文学社）、油縄 営業所（那覇市）、アルテ イスタ（横浜市中区、橋口 謙社長）などが講師面を 担う。

最新の組込み関連製品・技術

ET WEST 2009 出展企業から

11

イーソルエンベックス ポートも行う。具体的には、10年度にはこの内容に加え、(東京都中野区、大橋盛司)は、組込み技術基礎、基本を、内定者向けの研修も社長の「組込み分野における人材育成事業、人材サービス事業を行っている。また、「組込み技術者」の「ET West 2009」では、人材育成事業に重点を置いたパネル展示などを行い、顧客の拡大を図る。同社は、厚生労働省の「キャリア形成促進助成金」を活用し

人材育成・サービス事業

「キャリア形成促進助成金」を活用し

組込み技術

厚生労働省のキャリア形成促進助成金活用

新人社員の研修など実施

イーソルエンベックス

た組込み技術者向けの新人研修(4カ月間・450時間)を提供。09年度は、全国で28社/340人申請(約2600万円)以上、以上の業界No.1の助成金活用の研修実績を誇る。内容は、キャリア形成促進助成金を活用したモデルカリキュラムに準拠しており、助成金申請に関するサ

研修内容と助成金申請支援

<p>09年10月 内定者研修 ・情報処理基礎 ・C言語基礎 通信添削&スクリーニング</p>	<p>10年4月~ 新人社員研修 ・情報処理基礎 ・C言語入門 ・組込みマイコン入門 ・アセンブラでのプログラム開発 ・C言語での組込みプログラム開発 ・リアルタイムOS入門/演習 ・プロジェクト型演習など</p>
<p>助成金申請支援 キャリア形成促進助成金(認定実習併用職業訓練)申請支援の実施 ・事業内職業能力開発計画作成支援 ・実践型人材養成システム大臣認定申請支援 ・キャリア形成促進助成金受給認定申請支援など</p>	

電波新聞 2009年6月5日(金)付

組込み技術者向け研修パッケージ
工学研究社とイーソルエンベックス
キャリア形成促進助成金を活用
技術系通信教育大手の工学研究社(東京都新宿区、河崎信社長)と、組込み技術者育成に特化した研修会社(東京都中野区、大橋盛司社長)は、10年度に組込み技術系の新入社員を採用する企業向けに、厚生労働省のキャリア形成促進助成金(認定実習併用職業訓練)を活用した研修パッケージを発表した。

きく二つに分かれる。一つは助成金対応新人研修サービス、工学研究社が提供する10年新人社員内定者研修(情報処理、組込み知識の基礎、C言語基礎)と、イーソルエンベックスが提供する新人社員研修(情報処理基礎、C言語入門、組込みマイコン入門、アセンブラでのプログラム開発、リアルタイムOS入門/演習など:40日間)から構成される。

新人社員内定者研修では、従来のテキストとインターネットを活用した添削機能を提供するスタイルで、個人別の進捗管理が可能だ。

もう一つは、イーソルエンベックスが提供する人材育成計画の作成支援サービス。内容には、助成金申請支援コンサルティングサービス、2010年新人社員研修計画作成支援、キャリア形成促進助成金申請支援などを含む。

(つづ)